

# 施設整備コンセプト（案） について

2022年11月15日 場所：南第二小学校

# 建設に関する検討会 の内容・スケジュール

第1回（12月～1月）

関係者紹介・事業概要説明

第2回（3月）

概略配置計画案について（3案程度）

第3回（4月）

概略配置計画案について（3案程度）

第6回（7月）

地域開放エリア・屋外の環境づくりについて

第7回（8月）

避難施設機能について

第10回（11月）

施設整備コンセプト（案）について

第11回（12月）




基本計画検討会報告書案 検討  
（第10回の施設整備コンセプトまとめ）

# 本日の流れ

- 検討会の意見まとめについて
- 施設整備コンセプト案について

学校施設配置に関するワークショップのまとめ

○概略配置計画案について

<p>A案</p> 	<p>○教室棟配置：高低差を活かせる ○採光：中庭から光が入る、2階部分 ○グラウンド：南側で明るい、広くなる（既存プール跡、野球利用可能）</p> <p>○学童玄関：地域玄関と区画された動線 ○グラウンド：貯水機能を持つ ○学童クラブ：東側に配置</p> <p>▲普通教室：2・3階にまとめた（他3意見） ▲体育館の安全性：四角ではない ⇒ 競技スペースは四角 ▲車両出入口：西側ではなく、北側に設けたい（道路渋滞学童の迎えで道を塞ぐ）</p> <p>▲近隣との関係：北側の団地との視線に対策が必要 ▲校舎建設範囲：既存と変わらない（多目的スペースを増やすのに足りるか） ▲廊下：北側に廊下を配置したほうがよい ▲遊び庭：グラウンドに遊び庭がほしい</p>
<p>B案</p> 	<p>○普通教室：明るい場所に集中まとまりがあり使いやすい ○教室棟配置：高低差を活かせる ○採光：中庭から光が入る、2階部分 ○グラウンド：南側で明るい、広くなる（既存プール跡、野球利用可能）</p> <p>○学童玄関：地域玄関と区画された動線 ○グラウンド：貯水機能を持つ</p> <p>▲普通教室：2・3階にまとめた（他3意見） ▲体育館の安全性：四角ではない ⇒ 競技スペースは四角 ▲車両出入口：西側ではなく、北側に設けたい（道路渋滞、学童の迎えで道を塞ぐ） ▲近隣との関係：北側の団地との視線に対策が必要</p> <p>▲校舎建設範囲：既存と変わらない（多目的スペースを増やすのに足りるか） ▲廊下：北側に廊下を配置したほうがよい ▲遊び庭：グラウンドに遊び庭がほしい ▲普通教室：全てが同じ向きではない ▲学童クラブ：西側は交通安全上避けたい ▲地域玄関：来校動線が良い（直で入れるよう）</p>
<p>C案</p> 	<p>○学童とグラウンドの関係：近い ○遊び庭：使い勝手がよい ○防犯：出入口のまとまり</p> <p>▲日あたり：心配 ▲廊下：長い（子どもが走りそう） ▲特別教室の使いやすさ：細長い ▲校舎配置：校舎間の音の反響 ▲近隣との関係：グラウンドの声・遊び庭の視線 ▲グラウンド：目が届かない</p> <p>▲菜園スペースの確保（車両出入口との関係） ▲駐車スペース：広さ、出入口がよくない ▲給食車両：混雑する（病院に近い） ▲安全防犯：遊び庭への教員の目、視線が届かない ▲災害・火災等：教室とグラウンドの距離・出入口のまとまり ▲避難所機能：避難所利用時に特別教室と教室を分ける</p>

- 門・アプローチ等
- 西側歩道の狭さ：拡張・セパ、西側に門を設置しない可能性
  - 敷地南西角に門・敷地内に歩道を整備（多数）
  - 敷地北西角に門、車両も通れる門
  - 通り抜け動線：東と西の門をつなぐ通り抜け動線をやる
  - 正門の位置：正門の確定（集合写真）
  - 北門の設置：南成瀬小地域の児童登校のため
  - 建物・校庭・外構配置
  - 校舎・樹木：北側道路が死角にならない配置（⇔南成瀬小の通学路）
  - 南北に長い配置：西側に意のある校舎配置はどうか
  - 菜園・畑：あるとよい、現プールの場所
  - シンボルツリー：根を残す（多数）
  - 駐車施設：台数確保、イベント時の臨時スペース確保、車寄せ
  - 駐輪施設：保護者会等への対応
- 地域利用・避難施設
- 防犯対策：地域開放エリアと教室ゾーンを明確に区画（多数）
  - 可能な限り地域と児童の玄関・動線を分ける
  - 地域施設：地域開放ゾーンは別棟（独立）
  - 避難所機能：体育館・特別教室と教室ゾーンを分ける、体育館1階
- 地域開放エリアについて
- 地域利用
- 開放諸室の配置：開放諸室はできる限りまとめて低階層に配置、わかりやすい開放用出入口の設置
  - 特別教室等の開放：学習活動に影響のない開放エリアの設定（学校管理のもと開放）
  - 開放エリアの管理：普通教室と開放エリアを区別する、シャッター等による開放区画の設置、入館者管理の設備の設置
- 屋外環境づくりについて
- 校庭・外構
- 樹木：教材となる樹木、木陰のできる樹木、四季を感じる樹木、シンボルツリーの植樹（根や統合校ゆかりの樹木）
  - 菜園：菜園と遊び庭を分けて配置、菜園とグラウンドの隔隔を確保（緑地内・中庭・屋上等の利用）
  - 緑地：遊び・憩いのある緑地（ベンチやビオトープ）
  - 校庭：透水性のある舗装、運動会・球技授業への対応（テント配置・バスケ、多目的な砂場等）、グラウンド設備の充実（散水設備、照明等）、多様な道具（アンケート結果の反映）
  - 囲障：防球ネット・バックネット等の防球設備、視線が通りやすい囲いの設置と防犯カメラの設置
- 避難施設機能について
- 避難施設機能
- 避難所：避難所は低階層とする、災害弱者（妊婦、乳幼児、高齢者、傷病人等）に対応した環境を確保、ベットのスペースを確保、テントを張れる校庭の確保、水回りの充実（水洗等）
  - 避難所の環境：プライバシーの確保、畳等くつろげる室を確保
  - 対策本部：駐車場の近くに設置する、避難所運営体との連携
  - 敷地出入口：災害時に開放できるグラウンド出入口の設置、緊急車両がスムーズに入り出できる出入口の設置
- 校舎
- 普通教室：1・2階でなくてもよい、校庭側が避難しやすい日当りのよい環境、すべての教室が同じ環境
  - 特別教室：1階がよい
  - 管理諸室：グラウンドを見渡せる2階（ベランダに階段）
  - 放課後活動・地域活動利用室：1階にまとめる
  - 校舎の広さ・オープンスペースの充実、十分な集会スペース
  - 児童動線・配膳動線：短く、普通教室前を通らない動線
  - PTA室：低階層に配置（1階）
  - ピロティ部：災害時の避難動線から除外（現状）
  - 中庭：不要、広いほうがよい（大勢が遊べる）
  - 給食室：普通教室から離れた位置（火災発生を考慮）
  - 動線計画：動線を大切に（普通教室・学童・まちとも利用）
  - 屋上庭園・ピロティ（雨天時の活動スペース）
  - 舗装：グラウンドから昇降口に汚れを持ち込まない
  - 学童・まちとも
  - 学童クラブ：グラウンドに面する位置
  - まちとも：グラウンドに面する位置・出入口
  - 昇降口利用：児童・まちとも・学童・来校者
- 出入口・駐車場
- 段差解消：スロープの設置、移動しやすい動線の整備
  - 車両出入口：主出入口は北側道路を避ける（交通量や路上駐車が多いため）
  - 歩行者出入口：恩田川側は敷地の南北に出入口を設けた方がよい、子どもと歩行人の接触を避けるため各門まわりにゆとりあるスペースを確保
  - 駐車場：送迎に対応可能な駐車台数の設置、ゆとりある駐車スペースの確保
- 防災設備
- トイレ：適切な多数のマンホールトイレを確保、避難所と校庭利用（車中泊者）に配慮したトイレ設置、安全に利用できる環境を確保（死角解消等）、災害時でも使える屋内トイレを設置
  - 通信設備：安定した通信環境を確保
  - 備蓄：アレジャーや高齢者、傷病人に配慮した保存食の用意、避難時用の生活品の備蓄（段ボールベッド等）
  - その他
  - その他：様々な災害（地震や風水害等）に対応できる施設とする

# 検討会の 意見まとめ について

# 検討会の意見まとめ（第6回）

## ○地域開放エリアについて

### 地域利用

- 開放諸室の配置：開放諸室はできる限りまとめて低層階に配置、わかりやすい開放用出入口の設置
- 特別教室等の開放：学習活動に影響のない開放エリアの設定（学校管理のもと開放）
- 開放エリアの管理：普通教室と開放エリアを区別する、シャッター等による開放区画の設置、入館者管理の設備の設置

- プール：温水対応の検討（スイミングスクール等の外部利用の検討）、屋上設置等の敷地の有効活用
- その他：地域開放しない考えもある、学校の意見を反映する

## ○屋外環境づくりについて

### 校庭・外構

- 樹木：教材となる樹木、木陰のできる樹木、四季を感じる樹木、シンボルツリーの植樹（楓や統合校ゆかりの樹木）
- 菜園：菜園と遊び庭を分けて配置、菜園とグラウンドの離隔を確保（緑地内・中庭・屋上等の利用）
- 緑地：遊び・憩いのある緑地（ベンチやビオトープ）
- 校庭：透水性のある舗装、運動会・球技授業への対応（テント配置・バスケ、多目的な砂場等）、グラウンド設備の充実（散水設備、照明等）、多様な遊具（アンケート結果の反映）
- 囲障：防球ネット・バックネット等の防球設備、視線が通りやすい囲いの設置と防犯カメラの設置

### 出入口・駐車場

- 段差解消：スロープの設置、移動しやすい動線の整備
- 車両出入口：主出入口は北側道路を避ける（交通量や路上駐車が多いため）
- 歩行者出入口：恩田川側は敷地の南北に出入口を設けた方がよい、子どもと通行人の接触を避けるため各門まわりにゆとりあるスペースを確保
- 駐車場：送迎に対応可能な駐車台数の設置、ゆとりある駐車スペースの確保

# 検討会の意見まとめ（第7回）

## ○避難施設機能について

### 避難施設機能

- 避難所：避難所は低層階とする、災害弱者（妊婦、乳幼児、高齢者、傷病人等）に対応した環境を確保、ペット用のスペースを確保、テントを張れる校庭の確保、水回りの充実（水洗等）
- 避難所の環境：プライバシーの確保、畳等くつろげる室を設置
- 対策本部：駐車場の近くに設置する、避難所運営体との連携
- 敷地出入口：災害時に開放できるグラウンド出入口の設置、緊急車両がスムーズに出入りできる出入口の設置

### 防災設備

- トイレ：適切な基数のマンホールトイレを確保、避難所と校庭利用者（車中泊者）に配慮したトイレ配置、安全に利用できる環境を確保（死角解消等）、災害時でも使える屋内トイレを設置
- 通信設備：安定した通信環境を確保
- 備蓄：アレルギーや高齢者、傷病人に配慮した保存食の用意、避難時の生活用品の備蓄（段ボールベット等）

### その他

- その他：様々な災害（地震や風水害等）に対応できる施設とする

# 施設整備 コンセプト案 について

## ①教育環境・生活環境づくり

- 多様な学習形態に対応し、主体的・協働的な学習を支える学習空間の形成
- 健やかな生活・交流を支え、一人ひとりが安心して過ごせる施設

## ②放課後活動の拠点づくり

- 様々な活動に対応するとともに、適切な管理区画による安心して活動できる施設
- 誰もが移動しやすい動線と安全で利用しやすい施設

## ③市民生活の拠点づくり

- 地域と学校の連携・協働を支え、新たな地域拠点となる学校
- 適切な開放区画や開放諸室の集約による地域利用を活性化する施設

## ④安全性の確保

- 日常の安全・防犯対策を行うとともに、誰にでも優しく使いやすい施設
- 災害に強く、避難施設機能が充実した施設

## ⑤地域性を活かした学校づくり

- 南成瀬地区の学校として、愛着を育み、ともに歩む学校
- 恩田川や桜等の豊かな景観・環境を活かし、地域のシンボルとなる学校

# 施設整備コンセプト案について①

## ①教育環境・生活環境づくり

- 多様な学習形態に対応し、主体的・協働的な学習を支える学習空間の形成
- 健やかな生活・交流を支え、一人ひとりが安心して過ごせる施設

### 【検討会でのご意見】

- 正門の位置：正門の確定（集合写真）
- 北門の設置：南成瀬小地域の児童登校のため
- 南北に長い配置：西側に窓のある校舎配置はどうか
- 菜園・畑：あるとよい、現プールの場所
- 普通教室：1・2階にまとめなくてよい、校庭側が避難しやすい、日当りのよい環境、すべての教室が同じ環境
- 校舎の広さ：オープンスペースの充実、十分な集会スペース
- 管理諸室：グラウンドを見渡せる2階（ベランダに階段）
- 児童動線・配膳動線：短く、普通教室前を通らない動線
- 中庭：不要、広いほうがよい（大勢が遊べる）
- 屋上庭園・ピロティ（雨天時の活動スペース）
- 舗装：グラウンドから昇降口に汚れを持ち込まない
- 樹木：教材となる樹木、木陰のできる樹木、四季を感じる樹木、
- 菜園：菜園と遊び庭を分けて配置、菜園とグラウンドの離隔を確保（緑地内・中庭・屋上等の利用）
- 緑地：遊び・憩いのある緑地（ベンチやビオトープ）
- 校庭：透水性のある舗装、運動会・球技授業への対応（テント配置・バスケ、多目的な砂場等）、グラウンド設備の充実（散水設備、照明等）、多様な遊具（アンケート結果の反映）



## 施設整備コンセプト案について②

### ②放課後活動の拠点づくり

- 様々な活動に対応するとともに、適切な管理区画による安心して活動できる施設
- 誰もが移動しやすい動線と安全で利用しやすい施設

### 【検討会でのご意見】

- 特別教室：1階がよい
- 動線計画：動線を大切に（普通教室・学童・まちとも利用）
- 学童クラブ：グラウンドに面する位置
- まちとも：グラウンドに面する位置、グラウンドに面する出入口
- 昇降口利用：児童・まちとも・学童・来校者
- 駐車場：送迎に対応可能な駐車台数の設置、ゆとりある駐車スペースの確保

## 施設整備コンセプト案について③

### ③市民生活の拠点づくり

- 地域と学校の連携・協働を支え、新たな地域拠点となる学校
- 適切な開放区画や開放諸室の集約による地域利用を活性化する施設

#### 【検討会でのご意見】

- 駐車施設：台数確保、イベント時の臨時スペース確保、車寄せ
- 駐輪施設：保護者会等への対応
- 防犯対策：地域開放エリアと教室ゾーンを明確に区画（多数）、可能な限り地域と児童の玄関・動線を分ける
- 地域施設：地域開放ゾーンは別棟（独立）
- 放課後活動・地域活動利用室：1階にまとめる
- P T A室：低層階に配置（1階）
- 開放諸室の配置：開放諸室はできる限りまとめて低層階に配置、わかりやすい開放用出入口の設置
- 特別教室等の開放：学習活動に影響のない開放エリアの設定（学校管理のもと開放）
- 開放エリアの管理：普通教室と開放エリアを区別する、シャッター等による開放区画の設置、入館者管理の設備の設置
- プール：温水対応の検討（スイミングスクール等の外部利用の検討）、屋上設置等の敷地の有効活用
- その他：地域開放しない考えもある、学校の意見を反映する

# 施設整備コンセプト案について④

## ④安全性の確保

- 日常の安全・防犯対策を行うとともに、誰にでも優しく使いやすい施設
- 災害に強く、避難施設機能が充実した施設

### 【検討会でのご意見】

- 西側歩道の狭さ：拡張・セツバック、西側に門を設置しない可能性、敷地南西角に門・敷地内に歩道を整備(多数)、敷地北西角に門、車両も通れる門
- 通り抜け動線：東と西の門をつなぐ通り抜け動線をやめる
- 避難所機能：体育館・特別教室と教室ゾーンを分ける、体育館1階
- ピロティ部：災害時の避難動線から除外(現状)
- 給食室：普通教室から離れた位置(火災発生を考慮)
- 囲障：防球ネット・バックネット等の防球設備、視線が通りやすい囲いの設置と防犯カメラの設置
- 段差解消：スロープの設置、移動しやすい動線の整備
- 歩行者出入口：子どもと通行人の接触を避けるため各門まわりにゆとりあるスペースを確保
- 避難所：避難所は低層階とする、災害弱者(妊婦、乳幼児、高齢者、傷病人等)に対応した環境を確保、ペット用のスペースを確保、テントを張れる校庭の確保、水回りの充実(水洗等)
- 避難所の環境：プライバシーの確保、畳等くつろげる室を設置
- 対策本部：駐車場の近くに設置する、避難所運営体との連携
- 敷地出入口：災害時に開放できるグラウンド出入口の設置、緊急車両がスムーズに出入りできる出入口の設置
- トイレ：適切な基数のマンホールトイレを確保、避難所と校庭利用者(車中泊者)に配慮したトイレ配置、安全に利用できる環境を確保(死角解消等)、災害時でも使える屋内トイレを設置
- 通信設備：安定した通信環境を確保
- 備蓄：アレルギーや高齢者、傷病人に配慮した保存食の用意、避難時用の生活用品の備蓄(段ボールベット等)
- その他：様々な災害(地震や風水害等)に対応できる施設とする

## 施設整備コンセプト案について⑤

### ⑤地域性を活かした学校づくり

- 南成瀬地区の学校として、愛着を育み、ともに歩む学校
- 恩田川や桜等の豊かな景観・環境を活かし、地域のシンボルとなる学校

#### 【検討会でのご意見】

- 校舎・樹木：北側道路が死角にならない配置（⇔南成瀬小の通学路）
- シンボルツリー：楓を残す（多数）
- 樹木：シンボルツリーの植樹（楓や統合校ゆかりの樹木）
- 歩行者出入口：恩田川側は敷地の南北に出入口を設けた方がよい、
- 車両出入口：主出入口は北側道路を避ける（交通量や路上駐車が多いため）